

令和 4 年度 学生の学修時間・学修行動の把握に関する実態調査 分析報告書（外部報告用）

0. 調査概要

実施対象：全学部生

実施時期：令和 4 年 11 月 29 日(月)～12 月 9 日(金)

実施方法：ゼミナール（基礎ゼミ含む）の時間に教員指示のもと、学生自身が Forms から回答

回答率：63.0%（内訳は表 1 参照のこと）

表 1 回答状況

学年	1 年	2 年	3 年	4 年	全体
回答数 (回答率)	186 (61.4%)	226 (73.6%)	184 (64.8%)	129 (45.4%)	725 (63.0%)

1. 集計結果

令和 4 年度の「学修時間・学修行動の把握に関する実態調査」の結果は表 2 のようにまとめられる。

表 2 集計結果

	R4	R3	(R3 前期)
キャリア別コース制の所属割合	69.9%	69.9%	72.3%
課外活動団体(クラブ活動)の所属割合	29.5%	32.1%	33.0%
	(分)	(分)	(分)
課外活動団体(クラブ活動)に充てた時間(1 週間あたり平均)	150.9	36.1	35.2
地域活動やボランティア活動に充てた時間(1 週間あたり平均)	12.4	15.0	7.3
アルバイト活動にあてた時間(1 週間あたり平均)	635.1	637.4	584
読書(教科書以外の書籍)に充てた時間(1 か月あたり平均)	108.9		
オンデマンド授業にかかる学習時間(1日あたり平均)	61.7	66.0	69.6
予習・復習にかかる学習時間(平日, 1日あたり平均)	35.1	46.5	39.2
予習・復習にかかる学習時間(長期休業期間中, 1 日あたり平均)	39.6	48.6	43.4
予習・復習にかかる学習時間(土曜日・日曜日・祝日, 1 日あたり平均)	35.7	45.5	41.7
授業以外の勉強に充てた時間(平日, 1 日あたり平均)	38.2	44.8	37.8
授業以外の勉強に充てた時間(長期休業期間中, 1 日あたり平均)	40.7	47.2	36.2
授業以外の勉強に充てた時間(土曜日・日曜日・祝日, 1 日あたり平均)	37.4	42.7	37.1

結果のポイントは次の通りである。

- 「課外活動団体（クラブ活動）に充てた時間」は、1 週間あたりの平均時間が前年度より 320%増加している（36.1 分→150.9 分）。

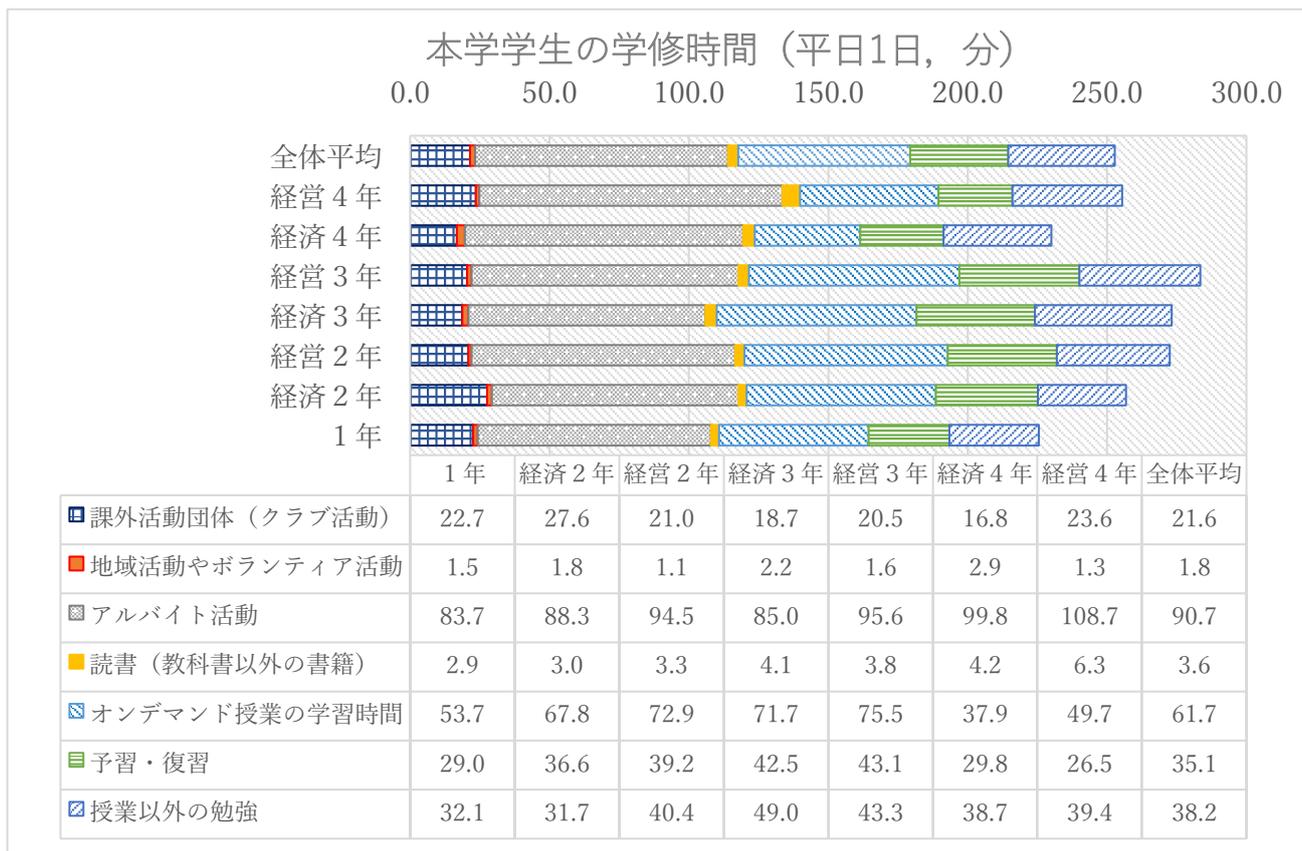
- 「アルバイト活動」については、1週間あたりの平均時間が前年度と同じくらい高い水準にある。(637.4分→635.1分)
- 「オンデマンド授業の学習」、「予習・復習」、「授業以外の勉強（就職活動関連、資格取得）」の学習時間合計は、前年度より約14%減少している（157.3分→135分）。
- 令和4年度にはじめて調査した読書時間は、1か月あたり平均109分であった。これは1日あたりに換算すると約3分である。

2. 本学学生の特徴

(1) 本学学生の学修時間・学修行動

本学学生の学修時間・学修行動を把握するため、調査データをもとに平日1日あたりの活動時間に換算し、それらを全体平均、学年・学科別グループに分けて図にプロットした。(図1参照)

図1 本学学生の学修時間・学修行動



本学学生の学修時間（授業外活動）は、平日1日あたり平均で約250分（4時間10分）、オンデマンド授業の学習時間を除くと約190分（3時間10分）である。その内訳は、アルバイトに約91分、オンデマンド授業の学習に約62分、授業以外の勉強に約38分、予習・復習に約35分、クラブ活動に約22分が大部分を占めている。その一方で、地域活動・ボランティア活動や読書にはあまり時間をかけていない。（「全体平均」の数値を参照）

学年・学科別にみると、学修時間の総計は、1年次生（約226分）と比べて、2年次以上は約30分以上長くなっているが、特に3年次生は他の学年より長いことがわかる。その他の特徴は以下の通り。

- 学修時間総計は1年次から3年次にかけて増加傾向にある。4年次は3年次より少ない。
- アルバイトにあてる時間は経営学科4年次生が他の学年より長い。
- オンデマンド授業の学習時間、予習・復習時間、授業以外の勉強時間の合計については、3年次生が（両学科とも）160分以上と他の学年より長い。
- 予習・復習時間、授業以外の勉強時間の合計については、経済学科3年次生が92分、経営学科3年次生が86分かけている。1年次生は61分と他の学年に比べて短い。
- 授業以外の勉強（就職活動関連、資格取得）については、経済学科3年次生が約49分、経営学科3年次生が約43分かけているが、それらに比べると1年次生は約32分と短い。

(2) 本学学生と全国の大学生との比較

本学でおこなわれている「学修時間・学修行動の把握に関する実態調査」と同様な調査データは、全国の大学では全国大学生協連会による「学生生活実態調査」の結果としてまとめられている[†]。そのデータを参照して、学修時間に関する本学学生と全国の大学生の状況を比較してみたい。

平日における「1日の予習・復習時間」と「1日の授業以外の勉強時間」の状況を表したものがそれぞれ図2と図3である。

図2 1日の予習・復習時間（分）

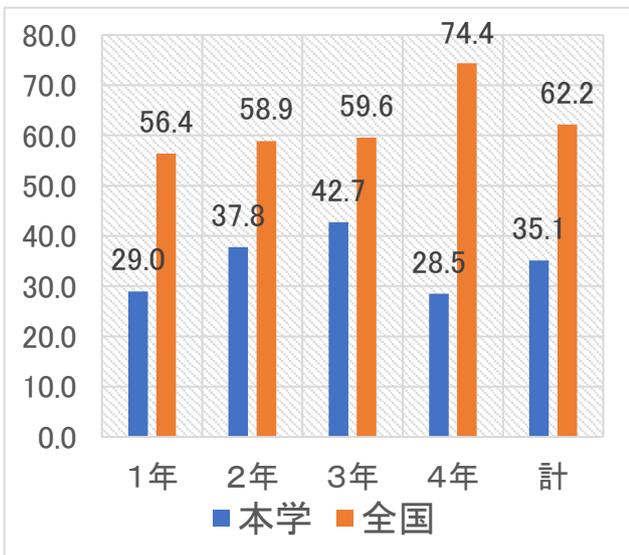
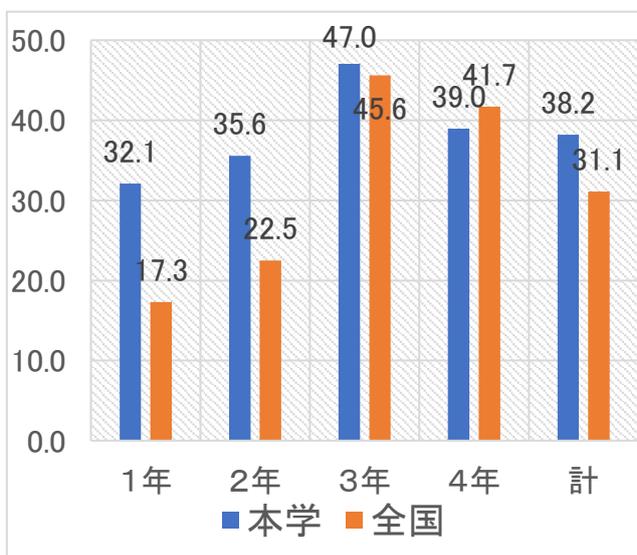


図3 1日の授業以外の勉強時間（分）



まず「1日の予習・復習時間」については、本学の学生は各学年とも全国の大学生平均より短いことがわかる。特に、本学の4年次生の予習・復習時間は他の学年より短く、全国の大学4年生の平均の半分にも満たない。

[†] 全国大学生協連「第58回学生生活実態調査 概要報告」（2022年度）

<https://www.univcoop.or.jp/press/life/report.html>

次に「1日の授業以外の勉強時間」についてであるが、本学の1年次生から3年次生までは全国平均を上回っている。本学の4年次生でも全国平均をわずかに下回っているに過ぎず、全体として、本学学生は全国の大学生より平均的により長い時間を授業以外の勉強にあてている。

以上の2つのデータを合計した1日の勉強時間（予習・復習時間＋授業以外の勉強時間）については、本学の平均が73.3分、全国平均が93.3分である。

「1日の読書時間」について、本学学生と全国の大学生の状況をまとめたものが表3である。

読書時間分布について見てみよう。1日の読書時間を「0分」と回答したのは、本学の学生40.4%、全国の大学生46.4%であり、読書離れの傾向が全国的に見られる。それに対して、1日の読書時間を「30分以上」と回答したのは、本学の学生2.8%、全国の大学生38%である。

また、1日の読書時間の平均を見ても、本学学生3.6分、全国の大学生32.7分であり、本学学生の読書量が少ないことがわかる。（1日の読書時間について、本学学生の中央値は「1分」である。）

表3 1日の読書時間（分布・平均）

	本学	全国
0分	40.4%	46.4%
30分未満（0除く）	56.8%	9.0%
30分以上	2.8%	38.0%
平均（分）	3.6	32.7

3. 考察：本学の課題

学習成果達成の観点から本学の課題を挙げておく。

- ① 1日の予習・復習時間は1日の授業時間に比してかなり短い。また予習・復習と授業以外の勉強の合計時間は全国平均を下回っている。
- ② 課外活動団体（クラブ活動）、地域活動・ボランティア活動に取り組む学生の割合が低い。
- ③ 読書の習慣がない人の割合は全国平均を下回るものの、読書する人でも読書にかかる時間が短い。

学年が低いほど、学修行動の活動量（学修時間総計）が少ない傾向にある。学修行動の活動量が少ないと、「学生時代に力を入れたこと、それによって得たこと」がなく、就職活動において自己アピールするのに窮するだろう。つまり、学修行動の活動量が少ない学年が就職活動をおこなう時期はかなり厳しい状況になると予想される。

以上